

調査年月日：平成27年11月20日



主な工事概要	請負額	工期
整地土工 139,410㎡	4億1,580万円	H27.8.27 ～ H28.3.28
地盤改良 1,347㎡		
伐根・伐採 37,969㎡		

塩浪地区住宅団地の工事の進捗状況について、委員会では調査を実施しました。住宅団地造成工事の現地調査を行った後、関係各課より工事の概要について説明を受けました。主な質疑については下記のとおりです。

10月末で11%の進捗

委員 工事進捗が想定より遅れているというが、回復方法は。

都市整備課長 10月末で18%想定が11%の進捗である。作業用道路の拡張や作業班の増加で効率を上げていく。但しあくまで品質と安全を最優先に進めていく。

委員 住民へのPR方法は。

都市整備課長 企業発行のかわら版、村の広報、窓口での説明、住民説明会等で周知する。

委員 団地販売を外部委託する考えは。

都市整備課長 分譲前のPRから委託を考えている。現時点では公募プロポーザルでの委託業者選考を検討している。



説明を受ける委員



造成工事の現況

塩浪団地の整備状況を現地調査

東日本大震災から間もなく4年11ヶ月になるうとしておりますが、昨年は9月の関東・東北豪雨をはじめ、多くの災害に見舞われた年でした。「災害は忘れなくてもやってくる」という近頃の警句が思い起こされます。防災対策の重要性を痛感するとともに、改めて被災された方々にお見舞いを申し上げます。村への企業誘致は順調で東横化学株式会社宮城事業所が立地、

私たち議員一同、大衡村民の代表として、一人ひとりがその責務を自覚し、議会・議員活動に全力を尽くしてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が皆様にとってより佳き飛躍の年となるよう心より祈念いたします、年頭のご挨拶といたします。

皆様におかれましては、健康やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より村議会に対し温かいご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ソラーフロンティアの東北工場が4月に操業、7月にはトヨタ自動車東日本大衡工場で新型シエンタが生産開始されました。国道4号4車線化については、10月に国道4号拡幅に係る都市計画変更の説明会が開催されました。1日も早い事業化のため本村議会も鋭意努力してまいります。



ときわの松 (大衡中学校)

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|----------|-----------|---------|
| 石川敏 | 佐藤貢 | 早坂弘 | 佐々木春樹 | 齋藤一郎 | 文屋裕男 | 小川宗寿 | 細川幸郎 | 高橋浩之 | 遠藤昌一 | 山路澄雄 | 佐々木金彌 | 議員 佐々木金彌 | 副議長 小川ひろみ | 議長 細川運一 |
|-----|-----|-----|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|----------|-----------|---------|

関東・東北豪雨災害復旧に 2億3978万円を補正



流失した野畑松本線

平成27年度
専決処分

災害対応のため
2会計を専決処分

村は9月関東・東北豪雨災害に速やかに対応するため、一般会計と下水道特別会計の2会計について、専決処分を実施しました。

平成27年度
補正予算

一般会計ほか
6会計を補正

- ◆ 追加の主なもの ◆
- ・ こども園運営委託料… 2,012万円
- ・ 万葉のびのび子育て支援事業 …… 176万円
- ・ 除雪及び融雪作業… 1,200万円
- ・ 塩浪住宅団地整備事業ほか …… 4,580万円
- ・ 塩浪住宅団地緑地整備工事 …… 2,800万円
- ・ 中学校講堂改修事業… 2,953万円

あらまし
平成27年第4回定例会は、12月9日から10日までの2日間にわたり開かれました。
村長から提出された議案は、教育委員の選任同意1件、人権擁護委員推薦の諮問1件、専決処分の承認4件、条例制定・改正各3件、機関事務委託の協議1件、指定管理者の指定1件、村道路線の認定・変更各1件、平成27年度各種会計補正予算7件と議員提案による意見書の提出1件、会議規則の改正1件を審議し、全て原案のとおり可決されました。
一般質問は11名の議員が行いました。質問順に8ページから18ページに記載しております。

◆ 追加の主なもの ◆

- ・ 農林施設災害復旧費（一般会計）… 7,065万円
- ・ 公共土木施設災害復旧費（一般会計）… 1億5,380万円
- ・ ポンプ場災害復旧工事費（下水道特別会計）… 1,300万円

※ 専決処分
議会の議決が必要な事柄について、特に緊急性が認められる時に、首長が議決より先に処理すること。

○ 主な条例の制定

・ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について

特定個人情報（マイナンバーを含む情報）を利用する事務と庁内連携について定めた条例

・ 平成27年9月関東・東北豪雨による災害被害者に対する村税の減免に関する条例

豪雨の被災者に対する村民税・固定資産税・国民健康保険税の減免について定めた条例

万葉のびのび子育て支援券 NO.			
有効期限	末日まで	使用年月日	年 月 日
助成額	500円	使用目的のいずれかにチェックしてからご使用ください。	<input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 粉ミルク
指定事業者名	車番()	大衡村 村印	
<small>指定事業者は、使用年月日及び事業者名(タクシーの場合は車番を含む)を記入してください。 ※この券には偽造防止加工が施されています</small>			

交付額：妊婦一人あたり5万円
有効期限：交付した日の属する月から2年間

平成28年1月1日から万葉赤ちゃん誕生サポート事業を改め「万葉のびのび子育て支援事業」が始まりました。
村内にお住まいの妊婦を対象にタクシー使用料金及び育児用品購入の一部を助成し、健康やかな出産・育児の支援を目的とした新制度です。
左記の子育て支援券を指定事業者に提出することで、助成が受けられます。

◆ 村が指定した事業者 ◆

紙おむつ・粉ミルク取扱店	住所	電話番号
ツルハドラッグ大和吉岡店	大和町吉田字高田東35	347-2808
ドラッグヤマザワ吉岡店	大和町吉岡南20	344-1381
薬王堂宮城大和店	大和町吉田字北要害77街区B-7L	345-8891
万葉・おおひら館	大衡村大衡字鏡沢12-2	343-7288

※「万葉・おおひら館」では、紙おむつ・粉ミルクは取り寄せになります。



万葉のびのび
子育て支援事業

万葉クリエートパーク他1公園 指定管理者を指定(5年間)



おおひら万葉パークゴルフ場

- 指定管理者の名称
株式会社万葉まちづくりセンター
(黒川郡大衡村松の平3丁目4-34)
- 指定管理者を指定する公の施設
・万葉クリエートパーク
・緑水公園
- 指定管理の期間
平成28年4月1日～
平成33年3月31日

村の不祥事の発端となった水道会計の横領事件の際に、きちんとした行政のあり方を示さなかった前副村長が、多額の村税を投入する指定管理者「万葉まちづくりセンター」の社長職にこのままとどまるのであれば、指定管理の相手先として認めるわけにはいかない。よって反対する。

反対

山路 澄雄 議員

討論

起立採決
賛成12・反対1
原案可決

意見書の提出

- ・「東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成28年度継続するための財政措置を求める意見書」

提出先 衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、宮城県知事

○会議規則の改正

- ・大衡村議会会議規則の一部を改正する規則（出席時の欠席届について）
議会における欠席の届け出の取扱いに関して、社会情勢等を勘案して、議員が出席した場合の欠席の届け出について新たに規定

質問者一覧表

質問者	質問事項	ページ
佐々木金彌	○関東・東北豪雨による被害と対策は	8
早坂 豊弘	○大衡村農業ビジョンをどう考えるか ○学校の防犯設備はどうなっているのか	9
齋藤 一郎	○8箇所の善川築堤を早急に ○関東・東北豪雨被害から学ぶ対策について	10
文屋 裕男	○前村長への不信任案の議決について	11
石川 敏	○9月の豪雨による災害復旧対策について ○村内行政区の分割について	12
細川 幸郎	○障がい者福祉の多機能型施設の誘致や就労支援について	13
佐藤 貢	○空き家問題に対する取組みは ○ふるさと納税の現状は	14
小川ひろみ	○これから目指す大衡の教育は ○インフルエンザ予防接種の事業拡大を	15
佐々木春樹	○板堰の改修を早急に ○費用弁償の見直しを	16
小川 宗寿	○鳥獣野生動物被害の現状と対策を問う ○村内全公園活用の費用対効果を検証しては	17
山路 澄雄	○村営住宅の老朽化の現状と住民の要望をどう捉えているのか ○村内の交通量が大幅に増加しているが交通安全対策に住民の声を反映させよ	18

一般質問 11人の議員が登場

◇一般質問とは
定例会ごとに、村長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずね、あるいは報告や説明を求めることを言います。
次ページから質問順に内容を要約して掲載します。

※会議録は議会事務局・ホームページで閲覧できます。



佐々木金彌 議員
(一問一答)

集中豪雨の被害と対策は 補助事業で実施していく

議員
9月10日・11日の豪雨による被害の状況と取りまとめ、復旧工事の補助をどうするか。

農業関連施設は農水省の暫定法と激甚法で対処していく。個人所有の農地は村の補助率を5割から8割に引き上げ、今後申請を受け付けて復旧を進める。
工事は業者から見積を必要とし、道路や水路を共同で行う時は農地保全会の賃金を参考とすることは可能である。重機を使い自分で行う時はレンタル料や燃料代を経費として算定を認める。

議員
水田のくずれた畦畔について、トラクターで畦畔突き作業を補助する考えはないか。

議員
被害を受けた方に対する税金面での減免をどのように考えているか。

村長
家屋の浸水や土地の流失などの被災者には、村民税・国保税・固定資産税の減免措置を考えており、12月定例会に提案し実行していく。

村長
11日の午後10時まで270mm/日の大雨が降り、各所で冠水や交通網が麻痺した。被害額は3億円程になり、今も受け付け中である。
復旧については大規模な公共施設等は国庫補助で行い、他は村単独の補助で進める。

9月関東・東北豪雨 村内被害状況

被害内容	被害件数	被害金額
床上浸水	4戸	-
床下浸水	16戸	-
通行止め	17ヶ所	-
下水道	ポンプ場 2ヶ所	1,300万円
村道等	49ヶ所	5,600万円
河川	21ヶ所	8,000万円
農業施設	190ヶ所	1億5,000万円



被害にあった海老沢地区（衡下）



早坂 豊弘 議員
(一問一答)

大衡村農業をどう考えるか 重要な問題と認識している

議員
TPPに合意し、関税撤廃となれば、米は国内需要量の10〜15%以上は確実に輸入米が占める。国は餌米、備蓄米を模索しているが、備蓄米も将来5万トン減らされる。米余りの中、更に「余り」価格は上がるどころか下がるのが予想される。

村長
本村のこれからの農業については非常に重要な問題と認識している。農業を考える会を開催し、農家の具体的な意見を聞き、集約し、中長期的に取り組むべきポイントなど色々な施策を考えていきたい。
JAあさひの協力を得ながら、集落営農を推進、米以外の推進作物の営農支援、販売も考えた。

議員
減反政策の廃止、戸別所得補償の廃止など農業者にとって将来、山積の課題がある。本村農業への具体的な支援をどうするのか。

議員
低米価といったこともあり、昨年のような助成は今後考えられるか。

村長
米一辺倒でなく畑地化対策にも支援をし、曲がりネギ、ホウレン草や、売れる野菜作りをJAと共に進めていきたい。

村長
価格対策については需要と供給のバランスが最大の要因と考える。今年は一俵一万円といったこともあり助成は行わない。



農業用水路の草刈り作業

学校の防犯設備は 色々考え対処する

議員
国道4号に隣接している中学校ということで夜間不審者の出入りもあると聞くが、把握しているか。

村長
大和署、大衡駐在所から報告を受けている。今後、カメラ、センサーライト等は、考えていく。

防犯カメラ、センサーライトの設置の考えは。

教育長
村、教育委員会、大和署と相談、考えていく。



齋藤 一郎 議員
(一問一答)

災害は忘れたころに・・・
ではなくなった

善川堤防築堤を早急に 災害復旧工事で対処する

議員

9月10日から11日朝にかけての豪雨により、善川から濁流が大量に流れ込んだ。
善川堤防八ヶ所が欠けていたために大水が溢れ出し、水田を呑み込み舗装されている歩道等までも流失した。
細かい砂やゴミ等によりコンバイン刈取り、乾燥調整に支障がでた。
古館橋近くでは直径1mのヒューム管2本と直径30cmのクルミの太木が堤防から150mも流れしてきた。一刻も早い築堤を県に要請してほしい。

村長

今回の豪雨は、想定を大きく超えていた。堤防が細くなっているところも含め11ヶ所が欠けている。
国土交通省からは災害対策等緊急事業で、今後の豪雨による再度の災害防止を図るため、築堤工事や排水樋門工事対策が図られると聞いている。

議員

地域防災マニュアルにある避難指示が適切だったのか、なぜ避難場所である地区集会所に避難させなかったのか。

村長

衡下地区を始め二地区においても雨水の流入が激しい所があり、避難の呼びかけを行った。
夜間、しかも豪雨状況だったので、分散を避けるため平林会館に避難誘導したが二地区の方は避難しなかった。

議員

集会所が水没する恐れがあるのならば、平林会館への避難誘導も理解できる。
地域防災マニュアルを再確認して想定外の事態に備えてほしい。

村長

地域防災マニュアルというものがある以上、原点に立ち返り進めたい。



通行止めになった県道大衡駒場線

議員

前村長はパワハラやセクハラの違法行為はしていないと昨年三月の全員協議会で明言した。また、前保健福祉課長の孫が大衡こども園に入園したのは職権・地位を利用したものだとの投書があり、その中には、議員に頼んで追及する旨のことが書かれており、それを確認しているとも前村長は説明した。某議員が前保健福祉課長にこの件を確認したところ、事実無根であるとのことだったので議会で質問することを伝えた。

議員

これらの投書があったことや、某議員から前保健福祉課長に電話があったことについては、前村長に前保健福祉課長から報告書が出されているとの説明がされている。これだけの証拠がある中で、当時議長を務めていた村長は、なぜ特別委員会を設置し調査しなかったのか。

村長

全員協議会で前村長から釈明を受けたが、到底納得できるものではなかった。区長会全員で前村長に辞職勧告を行うとの動きがあり、議会として重い決断をせざるを得なかった。
特別委員会を設置する悠長な考え方は持ち合わせていなかった。

議員

大衡村の運営は選挙で選ばれた村長と議会議員が協調・協力しながら、住民サービスを最優先に行われるべきであるにもかかわらず、マスコミ報道に翻弄され、それらの報道から逃れるため、不信任案を議決したと多くの村民は思っている。再度、なぜ特別委員会を設置するなどし、慎重に調査し審議しなかったのか。

議員

9月議会の総括質疑で行った8項目の中に、昨年3月の全員協議会で前村長が「副村長にきた投書と前保健福祉課長が某議員との電話のやりとりについては報告があった」と明言したことを受けて質問したにもかかわらず「文屋議員の作文である」と言ったが改めて問う。

村長

議事録に書かれていることを作文とは言っていない。文屋議員の別な発言に対して、作文と言った記憶はある。

議員

住民の組織である区長会が辞職勧告を提出する権限はないと思うが。

村長

区長に権限があるかは分からない。



文屋 裕男 議員
(一問一答)

前村長の不信任決議の前に 特別委員会の設置を すべきではなかったか 悠長な考えは持ち合わせていない



石川 敏 議員
(一問一答)

被災者にそった 豪雨災害復旧対策を 万全の対策を考える

議員 国庫補助による災害復旧対策事業の採択予定箇所や補助率はいくらか。施工時期はいつになるか。

村長 大規模な被害を受けた12ヶ所を申請している。激甚災害に指定されたので補助率はかさ上げされ90%以上になる。工事時期は来年3月末までに完了する予定だが、ため池等は稲刈り後の工事になる。

議員 村単独補助である農業用施設小災害復旧支援対策の申込み状況は。

村長 現在92件の申込みがあり、補助金は約4千万円を予算化した。申し込みは今後増加すると予想されるが、来年3月まで工事が完了しない場合は、繰越も考える。

議員 申請手続きでは工事代金支払い後に村補助金を交付することになっていくが、概算払いで前もって交付できないか。

村長 高額な工事負担金になった場合は、希望者には補助金交付決定後に概算払いで交付する。

今後の行政区運営の あり方は

地区の自主性に委ねる

議員 衡中東地区の行政区分割はいつか。新しい行政区の名称や、各種役員の構成は。

村長 4月に、ときわ台と現在造成中の塩浪地区住宅団地を新行政区とする予定であり、行政区の名称は未定。

役員構成は他地区と同じく区長・分館長等の役員選任をお願いしている。

議員 村内行政区では地区ごとに世帯数や人口に大きな差がある。今後の行政区運営のあり方は。

村長 地域性や地区の自主性を発揮される地区運営ができるよう、区長会とも協議していく。



新行政区になる「ときわ台団地」

議員 施設の場所や事業者の選定については。

村長 村は、施設整備の必要性を福祉法人等に情報発信しているが、現時点では決まっていない。多機能型施設事業所の運営を担い得る実績を持った法人であることや、開設後の利用者をどう充足するかの課題がある。

議員 施設開設までの具体的なスケジュールはどうなるのか。

村長 事業者が国の補助金を受けけるには県への申請が必要であり、立案から事業開始まで最短でも1年半程度の期間を要する。

議員 就労支援をどう充実させていくのか。

村長 今後、支援学校卒業生を中心にニーズが増えていく。事業所の新設による多様な就労場の創出、ハローワークや相談支援機関と共同で充実を図っていく。



細川 幸郎 議員
(一問一答)

障がい者福祉施設の 具体化は 施設誘致に向け検討中

議員 福祉の共生社会の実現に向け村が策定した福祉計画では、平成30年度を目標に多機能型施設の整備方針が示された。施設開設をどのように具体化させていくのか。障がいのある方々のニーズをどう把握しているのか。

村長 福祉計画策定の際のアンケートによると、シヨートステイや通所施設での日中活動の場の確保、家族への支援の要望が多かった。

議員 多様化する福祉を見据え、どのような施設を目指すのか。

村長 生活介護、自立訓練、就労移行、就労継続並びに児童発達支援の事業を一体的に行うことができ、多機能型の施設整備が望ましい。

議員 施設の場所や事業者の選定については。

村長 村は、施設整備の必要性を福祉法人等に情報発信しているが、現時点では決まっていない。多機能型施設事業所の運営を担い得る実績を持った法人であることや、開設後の利用者をどう充足するかの課題がある。

議員 施設開設までの具体的なスケジュールはどうなるのか。

村長 事業者が国の補助金を受けけるには県への申請が必要であり、立案から事業開始まで最短でも1年半程度の期間を要する。

議員 就労支援をどう充実させていくのか。

村長 今後、支援学校卒業生を中心にニーズが増えていく。事業所の新設による多様な就労場の創出、ハローワークや相談支援機関と共同で充実を図っていく。

大衡村の福祉の基本理念
「誰もが地域で自分らしく安心して生活出来るおおひら」をもとに、
みんなで考えていきましょう。



障がい者向け作業所（仙台市）



佐藤 貢 議員
(一問一答)

近い将来、増えるとされる
空き家
今のうちから
早急な空き家対策を...

空き家問題に対する 取組みは 空き家実態調査を計画

議員

全国的に老朽化した空き家が急増し、大きな社会問題になっている。本村でも少子化が進み一人暮らしのお年寄りが増加している現状を踏まえれば、この空き家問題が深刻化する前に未然防止策が必要ではないか。

村長

平成27年2月に空き家等対策に関する特別措置法が施行され、防犯・衛生・景観等地域住民の生活に深刻な影響を及ぼす空き家等への対応が可能となった。現在策定中の大衡村地方創生総合戦略において、

空き家実態調査の実施を計画している。

議員

空き家の撤去が進まない背景には税制上の問題もあると思うが、固定資産税等に支障はないか。

村長

固定資産税等の税収には大きな支障はない。

議員

空き家問題は所有者の自己責任の問題であり、行政が安易に介入する事は、大変難しいと思うが、空き家条例を制定すべきでは。

村長

条例を制定する事により、助言・指導・勧告する事が可能となるが、今後の空き家の利活用調査の状況を踏まえながら、検討していく。

ふるさと納税の 現状と今後は

広く周知を図っていく

議員

ふるさとを応援したいという自治体に寄付することで、お礼に地元の特産品がもらえるふるさと納税が大変人気になってきているが、大衡村の現状は、

村長

累計78名の方々から1345万円の寄付を頂いている。

返礼品として3万円未満の場合は万葉美人3本セット、村の広報紙を送っている。

議員

今後ふるさと寄付金の納税者を増やすための取り組みは。

村長

村のホームページへの掲載など、積極的に活用し、広く周知を図りたい。



返礼品の万葉美人



小川ひろみ 議員
(一問一答)

住みたい
住んで良かったと思える
まちづくり

これから目指す 大衡村の教育は 基本施策を進めていく

議員

教育委員会に係る制度が改められ、村長が総合教育会議を立ち上げる。その中で議論、協議、調整を行い、方向性を共有し、施策を推進、学校・地域・行政の連携による人づくりが必要になる。

④委員会の代表の方々の会議をしていく。

村長

①学校・家庭・地域・行政が円滑な連携のもとに将来にわたって幸せで、充実した人生、よりよい社会・地域をつくらせていくための人づくり、人材育成を目指す。

議員

②災害時にとるべき行動や、身を守るために必要な知識を習得、災害疑似体験、地域で行う防災訓練等に参加し、防災意識の向上を図る。

村長

③ICT教育は、年次的に教育用コンピューター、電子黒板、無線LAN整備、ICT支援員配置など整備を図っていく。

議員

※ICT教育
情報通信技術（ICT）の利用・活用方法の教育、またICTを駆使した教育

インフルエンザ 予防接種の事業拡大を 前向きに検討する

議員

感染力の強いインフルエンザは、子供が感染すれば保育園・学校は出席停止になる。学級閉鎖になれば共働き家庭にとっては大きな影響がでる。今年から新ワクチンが導入され、接種費用が値上げになり家計の負担が大きいです。子供達への助成を考えては。

村長

財源確保を考慮し、子育て日本一を目指している観点からも事業拡大を考えていく。





佐々木春樹 議員
(一括質問)

いた ぜき 板堰改修を早急に

バックアップは惜しまない

議員 村内には多くの板堰があるが、海老沢地区と駒場地区の板堰改修は強く要望されている。今回の豪雨を教訓にし、早急な対応が必要では。

村長 改修要望は承知している。農業用施設のストック点検と機能復旧を計画的に実施するよう検討していく。

※ストック点検
既存の建築物(ストック)を有効に活用し、長寿命化を図る体系的な手法



海老沢地区板堰

議員 海老沢地区や駒場地区は村外と隣接している為、他町との交渉が難しく改善が進まないと聞いています。計画的にこのことだが、どのような流れか。

村長 基本的には水利組合が主体となり改修するのが大前提だが、行政としてバックアップは惜しまない。

猟友会も

費用弁償の対象に

鳥獣被害対策実施隊の 設置で対応

議員 交通指導隊や消防団は、作業に応じた金額に改正されているが、猟友会には費用弁償そのものが無い。

村長 費用弁償の性質は、交通費や昼食代といった意味合いで、報酬と別に支給されている。猟友会の活動については、会の予算で対応していただいている。なお、鳥獣保護法の改正により、鳥獣被害対策実施隊の設置について検討している。

議員 鳥獣被害対策実施隊の設置について内容と現状は。

農林建設課長 内容については、非常勤特別職となり、報酬、費用弁償等が発生し身分的に補償される。国からの交付金措置により、財政的裏付けも確保される。

村長 現状は担当課が猟友会と調整しながら設置に向けて進めている。



くくり罠



小川 宗寿 議員
(一問一答)

大和町鳥獣駆除対策は完璧ですよ。大衡村でも一刻も早い対策を講じていくべきです。

鳥獣野生動物被害の 現状と対策は メッシュ柵等でも導入検討

議員 イノシシ、クマ等の農作物への被害を、どう把握し対策を講じているか。

村長 相当数の被害が発生している。電気柵の購入補助事業を活用してほしい。補助対象をメッシュ柵へ拡大することも検討している。

議員 農の見廻りに当たっている「猟友会」への助成は。

村長 村が助成している「村農作物有害鳥獣駆除対策協議会」の予算から「猟友会」へ支出している。



村道を横断するイノシシ(大瓜)

議員 有害鳥獣捕獲、追い払いを促すための人材確保や育成についてどのよう検討しているのか。

村長 免許取得講習会や資格受験への助成処置を検討していく。

村内全公園の

費用対効果と活用法は

催事の内容を検討していく

議員 村内全公園の管理費用は。

村長 クリエートパーク等へ年間5100万円、桔梗平等都市公園へ年間500万円、中央公園等条例公園へ年間1600万円かかっている。

議員 村外スポーツ団体への貸し出し実績はあるか。

村長 パークゴルフ場では村外団体による各種大会等の実績はあるが、それ以外の公園では貸し出しは無い。

議員 「歩け走ろう大会」は平成16年から6回、牛野ダム湖畔公園で開催された。

村長 素晴らしい景観を誇る湖畔公園で、再び「歩け走ろう大会」を開催できないか。

議員 昭和56年以降32回の開催しているが、年々参加者が増え安全確保が困難な状況から現在の万葉クリエートパークへ会場を変更した経緯もある。

教育長 色々な動きがあるなか検討しているが結論には至っていない。



山路 澄雄 議員
(一問一答)

塩浪住宅団地造成より前に
村営住宅老朽化に悩む
住民の声をきちんと
受け止めて・・・

村営住宅の住民苦情は 何故届かない 相談されるよう周知している

議員
村営住宅の老朽化に伴い、雨漏り・結露の発生と、それによる室内での黒カビの発生、床板の劣化、押し入れが使用不能になる等、住居環境が悪化している。また建物の壁面に多数のクラックが発生している。
居住者が雨漏りの改善を要望していたが、放置されたままになっていた。9月11日の大雨の後、たまりかね直接役場に向き苦情を伝えたが、未だに何の対応もなされていない。なぜ放置しているのか。



改修が待たれる村営住宅

村長
村が管理する住宅は11棟230戸であり、大規模改修の必要な事例を除き、雨漏りには現地確認しながら、部分補修で対応している。
カビ等の発生時には相談していただくよう入居者に周知を図っていく。

交通安全対策が 遅れている

関係機関と協議していく

議員
① 国道457号線、衝中北地区の歩行者横断歩道に信号機を設置すべきでは。
② 大瓜下地区の村道と線車道の交差点に、事故予防の交通安全施設と表示の整備が必要では。
③ 奥田地区は企業進出により、交通安全対策が急がれるが、住民の要望に込んでいるか。

村長
① 大和署と合同での現地確認で、他と比較し優先順位が低いとの評価であり、設置には至っていない。
② 信号機設置の優先順位が低く、「一時停止あり」といった注意喚起の看板設置や、区画線の表示を行っていく。
③ 一層の安全対策を県に要望していく。村として実施できることを住民の意見を聞きながら関係機関と連携して交通安全活動を行っていく。

全国町村議会広報研修会

伝わる広報を目指して 議会広報編集特別委員6名が参加

概要

議会活動に対する住民の関心と理解を深めるため、広報編集の実務者を対象とした全国研修が実施されました。
例年を大きく上回る1千人の参加者に向けて、2日間で3名の講師から現状に則した議会広報のあり方、広報編集のテクニックに関する講義が行われました。
詳細は下記のとおりです。

日程	平成27年10月20～21日
場所	シエーンパッサポ (東京都千代田区)

伝わる広報へ

広報コンサルタント
小田原順子氏
伝えるのではなく伝わる広報作りのテクニックを学びました。
(ポイント)
・ 結論を先に述べること
・ 文章を簡素化すること
・ 双方向の情報発信

読みたくなる広報

月刊地域づくり副編集長
畠田 千鶴氏
手に取って、読んでもらえる広報作りについて学びました。
(ポイント)
・ 表紙の訴求力
・ 住民参加型の記事作成

広報クリニック

議会広報サポーター
芳野 政明氏
全国議会広報コンクールで優秀な成績を収めた鳥取県大山町、山形県川西町の広報を題材に、編集時に参考とすべき点を学びました。

所感

多くの住民の声を聴く姿勢が大切であることを改めて認識しました。
今後も議会広報作成に尽力していきます。



行政視察研修報告

調査年月日：平成27年10月14日～16日

調査年月日：平成27年10月26日～28日

定住促進への取り組み

長野県 小布施町



* 小さい町ながら加算措置や観光交流事業により定住促進を図っているところを参考にしたい。

○町の概要

葛飾北斎等の、文化遺産を活かしたまちづくりを進め、観光を通して若者会議や第二町民（観光来町者）との交流を図っている。町の図書館はユニークな建築と運営で世界的に有名。

○小布施町定住促進補助金

〈交付対象事業及び補助額〉

対象事業	内容	要件	補助額
新築住宅取得	新たに土地を購入し、住宅を新築または新築された住宅を購入する方	宅地及び住宅の取得価格が2,000万円以上	20万円
	住宅を新築する方	住宅の取得価格が1,000万円以上	10万円
中古住宅取得	新たに中古住宅を購入する方	住宅及び宅地の取得価格が500万円以上	10万円
賃貸リフォーム	中古住宅を借り受けリフォームする方	100万円以上のリフォーム工事	10万円
加算措置	夫婦加算	妻または夫と転入する方	10万円
	子ども加算	子（18歳以下）と転入する方	10万円
	町内事業者加算	町内業者を元請として住宅を新築またはリフォームする場合	10万円

道の駅を防災拠点化

○織姫の里なかのと

- ・施設面積 18,500㎡ 駐車場 99台
- ・農産物販売施設「産直館織姫市場」
- ・地域交流施設 イベント広場、ドックラン
- ・その他の施設 公衆トイレ22器
公衆電話1台、休憩施設
- ・管理運営（指定管理）能登わかば農協

* 平成26年4月にオープンした道の駅を防災拠点として活用、災害時には地域の防災拠点となるよう整備を行っている。

石川県 中能登町



富山型デイサービス

富山県 富山市



* 老人福祉施設、障害者支援施設として富山市内の3施設を視察した。赤ちゃんからお年寄りまで、障害があってもなくても一緒にケアする活動方式で、利用者同士がお互い助け合い、支え合いながら、家族のように生活していた。

1) デイケアハウスにぎやか

- ・理事長 阪井由佳子（理学療法士）
- ・平成5年開設（自宅）
- ・日常の中で利用者が自分で出来る役割をする。（利用者同士の共生）

2) このゆびとーまれ

- ・理事長 惣万佳代子（元看護師）
- ・平成5年開設（自宅）
- ・利用者は子供もお年寄りも障害者も誰でも必要ときに必要なだけ利用出来、一緒に集う共生。家庭生活で出来る炊事・洗濯掃除など就労作業をする。

3) しおんの家

- ・理事長 山田和子
- ・平成11年開設
- ・フリーハウス「信」、グループホーム「望」「愛」、デイサービス「さふらん」の4つの家でサービスを展開

農林公社で活性化

○村の概要

「信州の自然百選」に選ばれ「日本で最も美しい村連合」に加盟するなど、自然景観の素晴らしい村である。

○農林公社みらい

〈主な事業内容〉

- ・米、大豆、そば、ニンニク栽培（遊休農地）
- ・堆肥センター管理受託事業
- ・農業機械の貸出し（トラクター、脱穀機等）
- ・体験施設、休憩施設付き農園等
- ・豆腐、みそ、醤油の製造（加工施設）

* 村・ながの農協・長野森林組合が出資しあって設立した農林公社が、過疎が進んだ農村のために、荒廃・遊休農地の再生・復元、6次産業化に向けて取り組む姿勢が強く感じられた。

長野県 小川村



調査年月日：平成27年11月10日

調査年月日：平成27年11月5日

現地調査

現地調査



● 宮城県仙台土木事務所所管
「県道大衡仙台線」
(大和町宮床工区)

- 事業計画
 - ・ 計画延長：L = 2,280m
 - ・ 計画幅員：車道幅員 W = 13.0m 4車線
全体幅員 W = 23.0m 両側歩道
 - ・ 施工幅員：車道幅員 W = 6.5m 2車線
全体幅員 W = 23.0m 片側歩道
 - ・ 事業費：33億円
 - ・ 事業期間：平成24年度から30年度(目標)
- 視察行程
 - ・ 宮床川橋工事
 - ・ 宮床^{こどう}跨道工事

● 特定非営利活動法人コスモスクラブ
「すまいる作業所」
(仙台市泉区南光台東3丁目11-35)

- 施設の概要
 - ・ 施設体系：障害者小規模多機能型事業所
 - ・ 開所年月日：平成21年4月1日
 - ・ 事業の種類と定員
 - 就労継続支援事業(B型) 20名
 - 生活介護事業 20名
 - ・ 事業内容
 - [B型] 豆腐、ドーナツ等の製造販売
 - [生活介護] 空き缶リサイクル活動、散歩
陶芸、清掃、音楽活動



○ コスモスクラブの運営施設

対象者	施設名称
小学生	つるがや、どんぐり
中高生	にこにこの家、ほかほかの家
	のびのびの家
成人	すまいる作業所、すまいる作業所えくぼ

平成27年9月 関東・東北豪雨被害状況

平成27年11月10日現在

● 農地及び農業用施設

・ 村主体による復旧

単位：千円

	箇所数	概算費用	備考
農業用施設	57	9,700	主要農業用排水路及び 主要農道対象

・ 国庫補助による復旧

	箇所数	概算工事費	備考
農地	7	59,140	激基指定により補助かさ上げあり
水路	3	7,620	
溜池	2	22,190	
計	12	88,950	

・ 所有者による復旧

	箇所数	概算工事費	補助金額	備考
農地等	121	49,326	39,460	補助率80%

● 道路及び河川

・ 村主体による復旧

単位：千円

	箇所数	概算費用	備考
道路	32	-	24ヶ所復旧済み
河川	7	-	6ヶ所復旧済み
計	39	7,732	

・ 国庫補助による復旧

	箇所数	概算工事費	備考
道路	7	38,900	補助率 66.7%
河川	11	81,100	
計	18	120,000	

・ 村単独施工による復旧

	箇所数	概算工事費	備考
道路	11	-	起債対象あり
河川	1	-	
計	12	10,000	

道路整備について



松原地区

小出 菜摘さん

私はここ大衡で生まれ育ち、今年二十歳という一つの節目を迎えます。現在は大学生で、実家から通学をしている以上、公共交通機関が未発達な大衡村では自動車の使用が不可欠です。

自分で運転するようになってからというもの、村内を走っていると、老朽化による路面のひび割れや消えかけた区画線・路面標示などが気になるようになりました。特に道端は路面状況が悪い上に土手との区切りがなく、歩行者や自転車がかやや中央よりを通行しているのが現状です。また、国道においても街灯が少なく、私自身中学校時代

自転車通学に恐怖を感じていたので、現在の中学生も同じ思いをしているのではないのでしょうか。

そこで、今回議員の皆様には路面修復やガードレール・街灯の増設などの道路整備を検討して頂きたいと思っております。さらに、除雪期を迎えるにあたり、毎年の除雪作業に心より感謝申し上げます。しかし昨年は、民家の入り口やバス停付近への残雪が多いとの声が聞かれました。大変恐縮ではありますが、今年は一丁寧な作業をよろしく願っています。

Topix



自治功勞表彰

佐藤 正志氏

村議会議員として多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により宮城県知事より表彰されました。

人権擁護委員



中川 さき子氏

人権擁護委員の推薦について議会の意見を求められ適任であると答申しました。

教育委員



高橋 健正氏

教育委員の任命について議会の同意を求められ採決の結果、同意しました。

任期：平成28年12月16日～平成31年12月15日



皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年三月の議会解散から大衡は忙しい一年となりました。

今年は大震災の時に大衡中学校を卒業した方が成人式を迎え、「新成人の誓いや感想発表」をお聞きすると非常に頼もしい限りでした。

我々議員もこれからの大衡をさらに住み良くする為に、住民参加の村づくりを目指してガンバツてまいります。

(佐々木金彌)

大衡村議会

広報編集特別委員会

- 委員長 小川 宗寿
- 副委員長 齋藤 一郎
- 委員 石川 敏
- 委員 早坂 豊弘
- 委員 佐々木金彌
- 委員 小川ひろみ